

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ニチアスセラテック株式会社					
代表者名	氏名	深瀬 宗彦	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上水内郡飯綱町大字牟礼396					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	21 窯業・土石製品製造業				
主たる事業の概要	2191 ロックウール・同製品製造業 (ロックウール、AESウールの製造)					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	10,626	9,000			
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	29,281				
	調整後排出量	t-CO ₂	29,169	24,500		
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	85				
自動車の台数	台	21				
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	28				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧可能場所 : 本社・牟礼工場 閲覧可能時間 : 10:00～15:00 事前に日時調整が必要（要連絡） 担当部署 : 設備技術部 設備技術課 連絡先 : 本社・牟礼工場（代表）026-253-2170
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

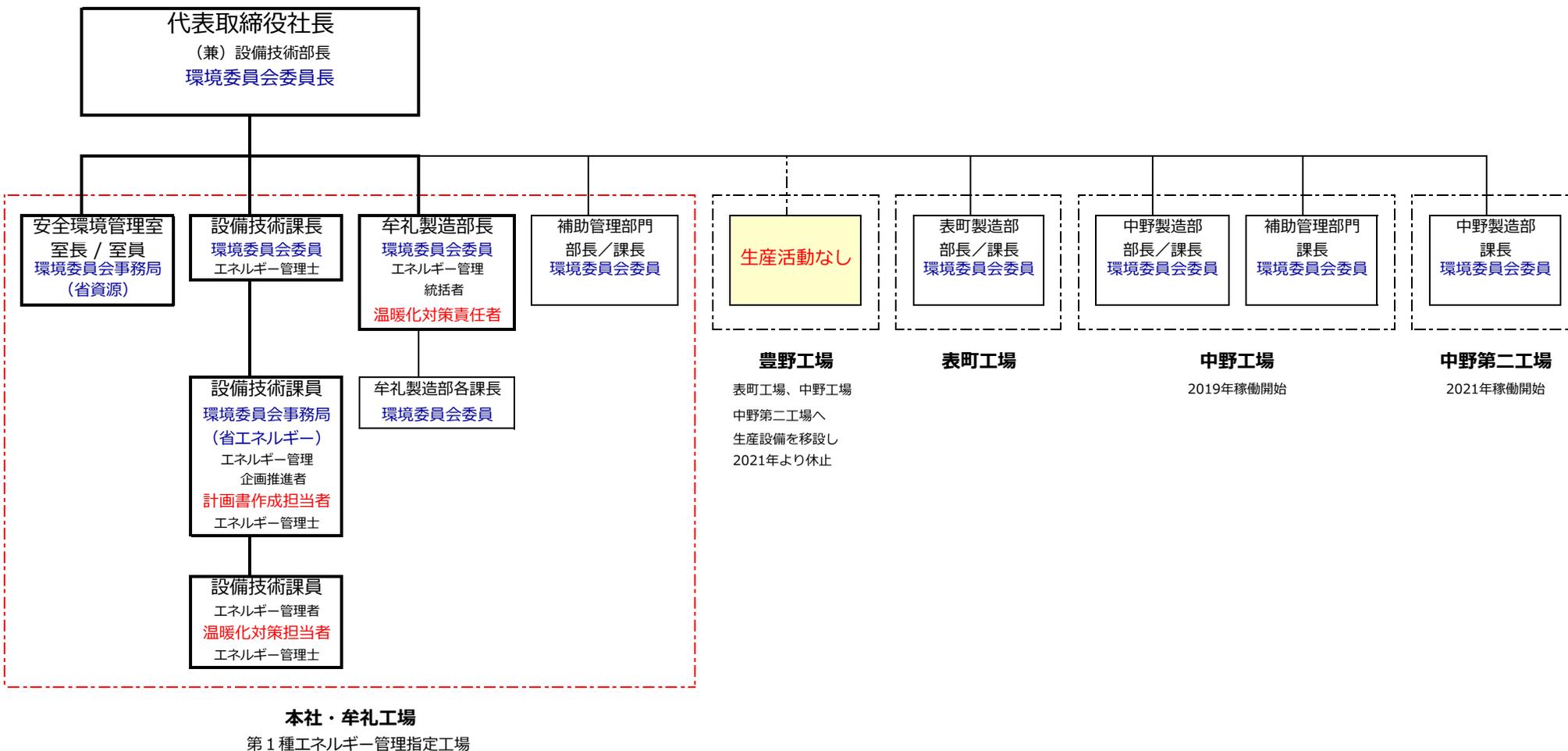
環境行動指針						
ニチアス環境憲章に従い、以下の項目を継続的に活動し、改善を図っていきます。						
3 環境パフォーマンスの向上 省エネ・省資源・化学物質管理などの環境目標をたて、実行します。						
(ニチアス環境憲章、環境行動指針より抜粋)						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	有	目標年度	①2030 ②2050	年度	削減目標	①二酸化炭素排出量30%削減 (2019年度比) ②二酸化炭素排出量実質ゼロ
削減計画の概要	<ul style="list-style-type: none"> 生産性改善を含む省エネルギー活動の全工場への展開 エネルギー使用量の見える化の推進とムダ取りの徹底 計画的な設備更新による省エネルギー機器への転換、高効率化 太陽光発電設備の積極的な導入 					
イニシアチブ 参画状況	<input type="checkbox"/> SBT	<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/> 再エネ100宣言 RE Action	<input type="checkbox"/>	その他	

5の1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制

<p>別ファイル「温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制」 参照</p>

5の2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

環境委員会 (社内)	1回/月
省資源・省エネルギー分科会 (ニチアスグループ)	2回/年
環境委員会 工場部会 (ニチアスグループ)	2回/年
ISO14001統合環境管理委員会 (ニチアスグループ)	4回/年



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	29,281	t-CO ₂	換算生産数量	36.34	単位	千t
2022年度	調整後排出量	29,169	t-CO ₂	基準原単位	805.75	t-CO ₂ /	千t
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	24,500	t-CO ₂	目標原単位	781.58	t-CO ₂ /	千t
2025年度	目標削減率	16.32	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	<p>目標排出量は二酸化炭素排出量削減計画の積み上げ計画値とした。 今後換算生産数量が基準年度に対し大幅に減少傾向となる見込みのため、 原単位の悪化が見込まれる。 目標原単位は努力目標として、年平均1%改善、3年間で3%改善とした。</p>						
第一年度	排出量		t-CO ₂	換算生産数量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂	換算生産数量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂	換算生産数量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	85	t-CO ₂			単位	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	28	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	生産設備	キューボラにおけるコークス比低減による石炭コークス使用量低減	2023～2025	60		
2	エネ起	生産設備	廃熱利用による灯油使用量低減	2023～2025	67		
3	エネ起	コンプレッサ	コンプレッサエアの設定圧力見直し、可能な限りのブロワ化による電気使用量低減	2023～2025	58		
4	エネ起	工業炉	電気炉における溶解電力原単位の低減、歩留まり向上による電気使用量低減	2023～2025	71		
5	エネ起	工業炉	乾燥炉における熱漏れ対策（断熱強化）、乾燥時間短縮、運用方法の見直しによる灯油使用量低減	2023～2025	35		
6	エネ起	工業炉	乾燥炉における排気ファンの回転数改善によるLPG使用量低減	2023～2025	41		
7	エネ起	空調機	廃熱利用による暖房負荷の低減、電気使用量低減	2023～2025	24		
8	エネ起	ボイラ	蒸気圧力の設定見直し、乾燥条件の見直しによる灯油使用量低減	2023～2025	79		
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	110	500			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書 非FIT非化石証書 (再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年	142	420			
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年	250	250			
うち県内産	千kWh/年	250	250			

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	26,256						
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	4	3,024						
合計	5	29,281						

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄	44			
N ₂ O	41			
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	85			

1.3 次世代自動車の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	2			
合計	2	0	0	0
自動車総数	21			
次世代自動車導入割合	9.5			

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の 利用促進	「信州スマートムーブ通勤ウィーク」に参加し、通勤方法を自動車から公共交通機関に転換した従業員に対し、転換した分の交通費を実費で支給
自転車の 利用促進	なし
来客者の交通対策 ／社用車等の 移動に伴う取組	なし
電気自動車用充電 設備の設置 ／電気自動車の導入	なし
物流の合理化	鉄道コンテナの利用

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細	
	実施内容	実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2019
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している	
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ①ISO14001 ②エコアクション21	①2019 ②2006
<input type="checkbox"/> グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
<input type="checkbox"/> ZEB	の認証を取得している	
<input checked="" type="checkbox"/> デイモンド・リスボンズ (DR)	電気の需要の最適化に資する措置 (上げDR・下げDR) を実施している	2022
<input checked="" type="checkbox"/> その他	産業廃棄物の低減活動、省資源・省エネルギーパトロール、工場周辺の環境パトロール	毎年

1.6 自由記載欄 (特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等)

<p>ニチアスグループカーボンニュートラル宣言 (抜粋)</p> <p>=重点施策=</p> <p><脱炭素につながるものづくりへの転換></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存製品製造時の二酸化炭素排出量を低減する製法への転換 ・低炭素で製造できる製品の開発、移行 <p><グループ全事業場での省エネルギーのさらなる推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社省エネ技術、省エネ製品の活用によるエネルギー効率の向上 ・製造事業場、オフィスでの日々の省エネルギーの徹底 <p><太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの積極的活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・創エネ、蓄エネ設備の積極的な導入 ・外部再生可能エネルギーの導入 <p>【本社・牟礼工場】 2020年8月「信州Greenでんき」を一部製造工程で使用を開始</p> <p>【表町工場】 2021年12月「太陽光発電設備」(自家消費)を導入</p> <p>【全工場】 2022年4月 全工場を対象に「省資源・省エネルギーパトロール」を開始 (1回/月)</p> <p>【他工場】 2023年度～2025年度に「太陽光発電設備」の導入を検討、導入予定</p>	
--	--